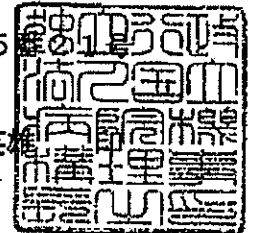


弘前発事第 0201004 号  
令和 4 年 2 月 1 日

青森県知事 三村 申吾 殿

開設者

住 所 東京都目黒区東が丘 2 丁目 5 番 21 号

氏 名 独立行政法人国立病院機構  
理事長 楠岡 英雄

## 地域医療支援病院名称使用承認申請書

地域医療支援病院の名称を使用したいので、下記のとおり申請します。

## 記

開設者の住所等	住 所	〒152-8621 東京都目黒区東が丘 2 丁目 5 番 21 号 (電話) 03-5712-5050 (FAX) 03-5712-5081									
	氏 名	独立行政法人国立病院機構 理事長 楠岡 英雄									
病院の名称等	名 称	独立行政法人国立病院機構弘前病院 (R4.4.1～独立行政法人国立病院機構弘前総合医療センター)									
	所 在 地	〒036-8545 青森県弘前市富野町 1 番地 (電話) 0172-32-4311 (FAX) 0172-33-8614									
病 床 数	病床数計	病床区分ごとの内訳									
	442床	<table border="1"> <tr> <th>精神病床</th> <th>感染症病床</th> <th>結核病床</th> <th>療養病床</th> <th>一般病床</th> </tr> <tr> <td>0床</td> <td>0床</td> <td>0床</td> <td>0床</td> <td>442床</td> </tr> </table>	精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	0床	0床	0床	0床
精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床							
0床	0床	0床	0床	442床							
施設の構造設備	集中治療室 (HCU)	(主な設備) 生体情報モニター、血液ガス測定装置、人工呼吸器、除細動器、 超音波診断装置 病床数 4床 室名：HCU 場所：西棟 3 階 (平面図 西 3-①)									
	化学検査室	(主な設備) 化学免疫分析装置、純水装置、グルコース・HbA1c測定装置、アン モニア測定装置、アレルギ-検査測定装置、アソバンド・ヒ・リビソ測定装置、 シェイキングミキサー、β-Dガラクトン測定装置、ホルテックスミキサー、恒温槽、自動浸 透圧測定装置、遠心機、冷蔵庫 他 室名：検体検査室 場所：東棟 2 階 (平面図 東 2-①)									
	細菌検査室	(主な設備) 全自動同定感受性検査システム、血液培養自動分析装置、全自動核酸抽 出増幅検査システム、高圧滅菌器、乾熱滅菌器、顕微鏡、蛍光顕微鏡、 恒温培養器、CO2インキュベーター、グリーンベンチ、安全キャビネット 他 室名：微生物検査室 場所：東棟 2 階 (平面図 東 2-②)									



	病理検査室	(主な設備) 密閉式自動包埋装置、パラフィン包埋装置、コールドプレート、自動染色封入装置、凍結標本作製装置、大型滑走式マイクローム、ホットプレート、自動免疫染色装置、パラフィン溶融器、生物顕微鏡製氷機、小型遠心機、集細胞遠心装置他 室名：病理検査室 場所：東棟2階（平面図 東2-③）
	病理解剖室	(主な設備) 解剖台、電動解剖鋸、吸引装置、ディスプレイ他 室名：剖検室 場所：西棟1階（平面図 西1-①）
	研 究 室	(主な設備) 机、イス、パソコン、プリンター 室名：細胞解析室 場所：東棟3階（平面図 東3-①）
	講 義 室	室数 1室 収容人員計 156人 室名：講堂 場所：東棟3階（平面図 東3-②）
	図 書 室	室数 1室 収容人員計 4人 室名：図書室 場所：東棟3階（平面図 東3-③）
	救急用又は患者輸送用自動車	保有台数1台 (主な設備) なし 室名：車庫 場所：屋外（配置図①）
	医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床面積 10.36㎡ 室名：DI室 場所：東棟2階（平面図 東2-④）
	平 面 図	別添のとおり（方位、縮尺（200分の1以上のもの）、各室の名称・用途・寸法を記載され、かつ、病室にあっては病床の種別（「療養病床」又はそれ以外の病床）及びそれぞれの病室の病床数が明示されていること。）
連絡先等	名 称	独立行政法人国立病院機構弘前病院
	所 在 地	〒036-8545 青森県弘前市富野町1番地 (電話) 0172-32-4311 (FAX) 0172-33-8614
	担当者職氏名	

○ 地域医療支援病院の承認時期について

弘前総合医療センターの開院日である令和4年4月1日付を希望します。

○ 弘前総合医療センターの平面図について

平面図については、令和2年7月31日付で弘前保健所から変更許可を受けていますが、その後、設計変更により一部変更となっている箇所が生じていることから、令和4年2月に再度、変更許可申請を行う予定です。また、現時点での使用許可の見込みは令和4年3月中旬の予定です。

添付書類〔※様式例第2～10添付〕

この申請書に次に掲げる書類を添付すること。

- 1 他の病院又は診療所から紹介された患者（紹介患者）に対し医療を提供する体制が整備されていることを証する書類
- 2 当該病院において、共同利用（病院の建物の全部又は一部、設備、器械又は当該病院に勤務しない医師、歯科医師、薬剤師、看護師その他の医療従事者の診療、研究又は研修のために利用させること。）のための体制が整備されていることを証する書類
- 3 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することを証する書類
- 4 救急医療を提供する能力を有することを証する書類
- 5 診療に関する諸記録の管理方法に関する書類
- 6 病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類
- 7 診療に関する諸記録の閲覧方法に関する書類
- 8 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類
- 9 医療法施行規則（昭和23年厚生省令第50号）第9条の19第1項に規定する委員会の委員の就任承諾書及び履歴書

注意事項

「主な設備」とは、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を指す。

(様式例第2) 他の病院又は診療所から紹介された患者に対し医療を提供する体制が整備されていることを証する書類及び救急医療の提供実績

1. 地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

地域医療支援病院 紹介率		71.0%	算定 期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日
地域医療支援病院 逆紹介率		61.5%		
算出 根拠	A：紹介患者の数			5,887人
	B：初診患者の数			8,291人
	C：逆紹介患者の数			5,100人

- (注) 1 「地域医療支援病院紹介率」欄は、AをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。
- (注) 2 「地域医療支援病院逆紹介率」欄は、CをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。
- (注) 3 それぞれの患者数については、前年度の延数を記入すること。

(様式例第3) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況 別紙1のとおり

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	8床
専用病床	4床

(注) 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
HCU (4床) 場所: 西棟3階 (平面図 西3-①)	112.4㎡	(主な設備) 生体情報モニター、血液ガス測定装置、人工呼吸器、除細動器、超音波診断装置	可
NICU (3床) 場所: 西棟2階 (平面図 西2-①)	37.2㎡	(主な設備) 生体情報モニター、経皮血液ガスシステム、血液ガス自動分析システム、移動型X線撮影装置、LED光線治療器、非侵襲性人工呼吸器、新生児黄疸光線治療器、搬送用保育器	可
救急外来 場所: 東棟1階 (平面図 東1-①)	231.3㎡	(主な設備) 移動型X線撮影装置、超音波診断装置、生体情報モニター、血液ガス分析装置、除細動器	可

#### 4 備考

救急告示病院

(注) 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合にはその旨を記載すること。  
既に、救急病院等を定める省令（昭和39年厚生省令第8号）に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について（昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知）に基づき救急医療を実施している病院にあっては、その旨を記載すること。

#### 5 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	2,074人 (892人)
上記以外の救急患者の数	5,247人 (760人)
合計	7,321人 (1,652人)

(注) それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。  
括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

#### 6 救急用又は患者輸送用自動車

救急用又は患者輸送用自動車	1台
---------------	----

(様式例第4) 地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用(共同利用)のための体制が整備されていることを証する書類

1 共同利用の実績

医療機器等の共同利用の実績はないが、圏域の医療機関からCT等の撮影依頼を患者紹介という形で受けている。

《参考》

・令和2年度実施件数 213件

(注) 前年度において共同利用を行った実績がある場合において、当該前年度の共同利用を行った医療機関の延べ数、これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数、共同利用に係る病床の病床利用率を明記すること。

2 共同利用の範囲等

令和4年度以降の共同利用の範囲

- ・医療機器
  - ① コンピュータ断層撮影装置(CT)
  - ② 磁気共鳴診断装置(MRI)
  - ③ RI装置(SPECT-CT)
  - ④ 骨塩定量装置(DEXA)
- ・開放型病床
- ・図書室
- ・大会議室

(注) 当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用の対象とする予定のものを明記すること。

3 共同利用の体制

ア 共同利用に関する規定の有無 ☒ 有 ☐ 無

イ 利用医師等登録制度の担当者 氏名:

職種:

(注) 共同利用に関する規定が有る場合には、当該規定の写しを添付すること。

4 登録医療機関の名簿(別紙2参照)

常時共同利用可能な病床数

5床

(様式例第5) 地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明

1 研修の内容(別紙3参照)

当該研修については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、実習が必要なものを除き、当院HPに研修動画を掲載し、登録医等のみが視聴可能な方法により実施する予定。

- ・ 当院HPへの研修動画掲載: 令和4年1月14日までに実施予定
- ・ 登録医等への周知: " 1月中に実施予定

2 研修の実績(別紙3参照)

(1) 地域の医療従事者への実施回数	14回
(2) (1) の合計研修者数	84人

(注) 1 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注) 2 (2) には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

- ア 研修プログラムの有無 ☒ 有 ☐ 無  
イ 研修委員会設置の有無 ☒ 有 ☐ 無  
ウ 研修指導者

研修指導者氏名	職 種	診療科等	役 職 等	臨床経験数 (R3.12現在)	特 記 事 項
					教育責任者

(注) 教育責任者については、特記事項欄にその旨を記載すること。



#### 4 研修実施のための施設及び設備の概要

施 設 名	床 面 積	設 備 概 要
講堂 場所：東棟3階 (平面図 東3-②)	199.3㎡	(主な設備) テーブル、イス、スクリーン、 プロジェクター、
大会議室 場所：東棟3階 (平面図 東3-④)	125.6㎡	(主な設備) テーブル、イス、スクリーン、 プロジェクター
会議室① 場所：東棟3階 (平面図 東3-⑤)	38.6㎡	(主な設備) テーブル、イス
会議室② 場所：東棟3階 (平面図 東3-⑥)	38.6㎡	(主な設備) テーブル、イス

(様式例第6) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	
管理担当者氏名	

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		①診療録に係る記録 …電子カルテ ②病院日誌 …医事室内保管	①診療録（ID順に分類）  ②年度別に保管
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	地域医療連携室	年度別に保管
	救急医療の提供の実績	医事室	年度別に保管
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	地域医療連携室	年度別に保管
	閲覧実績	医事室	年度別に保管
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	地域医療連携室	年度別に保管

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式例第7) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

閲覧責任者氏名	
閲覧担当者氏名	
閲覧の求めに応じる場所	独立行政法人国立病院機構弘前病院
閲覧の手続の概要  別紙4「独立行政法人国立病院機構弘前病院 診療情報の提供に関する規程」を参照	

前年度の総閲覧件数		13件
閲覧者別	医師	0件
	歯科医師	0件
	地方公共団体	0件
	その他	13件

(様式例第 8) 委員会の開催の実績

委員会の開催回数	0 回	
委員会における議論の概要		
<p>令和 4 年度の委員会については、6 月、9 月、12 月、3 月の年 4 回の開催予定としており、以下の事項を審議することとしている。</p> <p>(審議事項)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>①紹介患者に対する医療の提供に関すること</li><li>②施設、設備の共同利用に関すること</li><li>③救急医療の提供に関すること</li><li>④地域医療従事者の研修に関すること</li><li>⑤その他地域医療連携に必要な支援に関すること</li></ul>		

(注) 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

(様式例第 9) 患者相談の実績

患者相談を行う場所	相談窓口														
主として患者相談を行った者 (複数回答可)	地域医療連携室職員 ・ 看護師 1 名 ・ 社会福祉士 4 名														
患者相談件数	2, 7 7 0 件														
患者相談の概要															
<table><tr><td>○ 受診・受療の相談</td><td>2 1 4 件</td></tr><tr><td>○ 経済的な相談</td><td>4 6 件</td></tr><tr><td>○ 家族関係の相談</td><td>1 6 件</td></tr><tr><td>○ 社会復帰の相談</td><td>9 件</td></tr><tr><td>○ 心理的・社会的問題の相談</td><td>1 2 件</td></tr><tr><td>○ 退院支援</td><td>1, 7 1 6 件</td></tr><tr><td>○ その他</td><td>7 5 7 件</td></tr></table>		○ 受診・受療の相談	2 1 4 件	○ 経済的な相談	4 6 件	○ 家族関係の相談	1 6 件	○ 社会復帰の相談	9 件	○ 心理的・社会的問題の相談	1 2 件	○ 退院支援	1, 7 1 6 件	○ その他	7 5 7 件
○ 受診・受療の相談	2 1 4 件														
○ 経済的な相談	4 6 件														
○ 家族関係の相談	1 6 件														
○ 社会復帰の相談	9 件														
○ 心理的・社会的問題の相談	1 2 件														
○ 退院支援	1, 7 1 6 件														
○ その他	7 5 7 件														

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。

(様式第 10)

その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
・情報発信の方法、内容等の概要 以前は弘前市との共同開催の市民フォーラムで新中核病院の概要等の情報発信を行ってきたが、令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、主に弘前市及び当院の広報誌により情報発信を行っている。	

3 退院調整部門

① 退院調整部門の有無	有・無
・退院調整部門の概要 スクリーニングシートにより、退院困難な要因を有する患者を抽出する。 (予定入院は入院支援センター、それ以外は入院時に病棟スタッフが実施) 対象患者については、入院後早期に患者・家族と面会を実施し、患者・家族の退院後の意向を担当者間で共有するとともに、必要に応じて退院を可能にする制度・社会資源との連携・調整を行う。	

4 地域連携を促進するための取組み

① 地域連携クリティカルパスの策定	有・無
・策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容 大腿骨頸部骨折パス ・地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み 院内のクリティカルパス部会でミニレクチャーを開催し、知識の共有を図っている。	